

富山県森づくりプラン後期計画に定める『森づくりの施策』を活かした、全国植樹祭の開催について

目的

水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現

施策の方向

県民全体の森づくりを支える

水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

とやまの森を支える人づくりの推進

森づくりプランに基づく事業

I 水と緑の森づくり推進事業

- 水と緑の森づくり会議の開催
県内各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺う
- 県民参加の森づくりの推進
森づくりへの理解を深め、県民のさらなる森づくりへの参加を進めるため「県民参加の森づくりフェア」を開催

II 里山再生整備事業

- 里山再生整備事業
県民協働による、里山林の整備を推進
- 森林病虫害等枯損木除去事業
主要道路沿線等のカシナガキイムシによる枯損木を除去
- 里山活用推進事業
森づくり活動の中心となる里山リーダーの養成等

III みどりの森再生事業

- 森林整備事業
風雪被害林や竹林の侵入した人工林などを混交林に誘導
- みどりの里親事業
森づくり事業や森林ボランティア等が行なう森づくりに使用する県産広葉樹苗を県民協働で育成

IV 実のなる木の植栽事業

- カシノナガキイムシの被害を受けた奥山を対象に実のなる木を植栽し、水土保全機能など公益的機能の確保や野生動物の餌場を確保

V 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業

- 花粉症対策の一環として、スギ人工林の伐採跡地に、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽するとともに、全国に向け普及拡大を進める

VI とやまの森づくりセンター活動推進事業

- 県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等の活動を支援

VII とやまの森づくり総合情報システム事業

- 森づくりへの理解を深めるため、「とやまの森づくりホームページ」を通じて、森づくり情報や事業の成果を県民に提供

VIII とやまの森づくり普及啓発推進事業

- 森づくりへの県民の理解を深めるため「森の寺子屋」を開催

IX 県産材利用促進事業

- 森林資源の循環利用を進め、森づくりへの理解を醸成するため、公共施設の木造化、内装木質化や木製品の導入等を支援

X 県民による森づくり提案事業費

- 県民が企画、実践する森づくり事業を募集し、活動を支援

全国植樹祭の開催に向けた具体的な取り組み

○森づくりと海づくりの連携

「県民参加の森づくりフェア」において、小中学生による森・川・海的环境保全活動の紹介や交流活動など



森・川・海の関係者が参加する森づくりフェアの開催



海づくり大会での苗木の育成依頼

○県民参加による多様な森づくりの推進

森づくりボランティアや花とみどりの少年団等の県民協働による、記念植樹用の苗木の育成



苗木の種子を森づくりボランティア等が採取



県産広葉樹苗を県民協働で育成

○優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信

・全国に先駆けて開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の県内外への普及推進
・展示選抜林の整備による苗木の増産体制の確保
・首都圏での植樹活動



無花粉スギ展示選抜林 (H29イメージ)



日比谷公園での記念植樹 (H25.2.21)

○持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興

多くの参加者が見込まれる大規模イベントで使用する、県産材ベンチ・プランターの開発・製作



全国植樹祭会場での県産材ベンチ (写真: 山口県)



全国植樹祭会場での県産材プランター (写真: 山口県)

県民参加による健全な森づくりの一層の推進

第68回全国植樹祭の基本構想(案)について

＜基本理念(要約)＞

県民参加の森づくりの一層の推進と森林の循環利用による林業再生を図るとともに、富山の魅力を全国にアピールし、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。

＜大会の概要＞

- 1 開催時期：平成29年(2017年)春季
- 2 開催候補地：魚津市 桃山運動公園
- 3 行事概要
 - (1) 式典行事(3部構成)
 - プロローグ：参加者を歓迎し、富山県の自然や森づくり活動を紹介
 - 式典：天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等
 - エピローグ：参加者を歓送し、今後につながるメッセージを全国に発信
 - (2) 植樹行事：参加者による記念植樹
 - (3) 関連行事：第46回全国林業後継者大会
- 4 大会テーマ及びシンボルマーク：今後、実行委員会で選定
- 5 主催：富山県、(公社)国土緑化推進機構

＜基本方針(概要)＞

1 豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会

- ① 県民参加による多様な森づくりの推進
「富山県森づくり条例」の趣旨に沿って「水と緑の森づくり税」を活用して進めてきた「県民参加の森づくり活動」をこの大会を契機にさらに広げ、先人から引き継いだ豊かな森を、次世代に継承します。
- ② 持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興
伐採から再造林までの森林の循環利用による持続可能で健全な森づくりを進める必要があることから、この大会では、県産材の積極的に活用し木の良さをPRすることにより、林業、木材産業の振興につなげます。
- ③ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信
花粉症対策として、全国に先駆けて開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を持続可能な森づくりを進める上で必要な植林(再造林)の切札として全国に発信します。

2 森づくりと海づくりの連携

本県では、林業・漁業関係者の協力による植林など、森づくりと海づくりの連携が進んでおり、これらを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動を全国に発信します。

3 富山県の魅力発信

立山連峰や神秘の海富山湾に代表される豊かな自然や、そこで育まれた富山の食や伝統・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

北陸新幹線開業のまもない大会であることから、県民全体で「おもてなしの心」で対応し、「温かみ」のある大会とします。

平成26年度「県民参加による水と緑の森づくり事業」

～水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現～

当初計画額

3億6,413万円

富山県森づくりプラン後期計画（H24～28年度）の概要

○里山林や混交林整備、森づくりの参加人数に目標を設定し、取組みを推進

【里山林や混交林の整備面積】

単位：ha

【森づくりの年間参加延べ人数】

単位：人

区分	前期実績 H19-23	後期計画					全体 H19-28
		実績		計画			
		H24	H25	H26	H27-28	H24-28計	
里山林 整備	整備面積 <新規地区数> 1,296 <156>	260 <34>	237 <26>	290 <27>	517 <68>	1,304 <155>	2,600 <311>
混交林 整備	整備面積 693	165	148	126	368	807	1,500

年度	H19	H23	H24	H25 見込み	H28 目標
参加人数	6,920	10,775	11,046	11,200	12,000
サポート センター 登録団体	43団体 (2,903人) 11企業	83団体 (3,205人) 45企業	88団体 (3,377人) 46企業	99団体 (4,052人) 50企業	

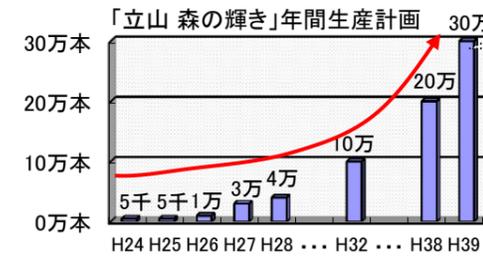
・里山林：県民協働による整備を推進
・混交林：過密林、風雪被害林及び竹林の侵入した人工林で整備を実施

・現行の参加者の定着を図るとともに、潜在的な意欲のある新たな参加者の増加を目標に設定

○後期計画の新たな取組み

【優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及】

花粉症対策の一環として、本県で開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を進める
①スギ花粉飛散に強い影響を及ぼしている人工林での「立山 森の輝き」の植栽、初期保育を支援
②「立山 森の輝き」を全国に向けて広く普及・拡大するため、苗木の大量生産体制を整備



・年間約30万本の生産体制を挿し木による生産等によりH39年度までに前倒して計画する。(H38年度20万本)



【カシノナガキクイムシによる被害跡地の復旧】

奥山のカシノナガキクイムシによる被害跡地において、ミズナラなど実のなる木を植栽し、森林の公益的機能やクマなどの野生動物の餌場の確保を図る

多様な森づくりの推進

□ 里山再生整備事業費

【1億6,151万円】

県民協働による、里山林の整備(290ha,27箇所)を推進
里山林の継続的な管理・利用を推進するため、里山地区のリーダーを養成
カシノナガキクイムシ等の森林病虫害などによる枯損木を除去



□ みどりの森再生事業費

【1億532万円】

風雪被害林や竹林が侵入した人工林などを整備し、混交林に誘導(126ha)
森づくり事業地や全国植樹祭で使用する県産広葉樹苗を県民協働で育成



□ 実のなる木の植栽事業費

【850万円】

カシノナガキクイムシの被害を受けた奥山を対象に実のなる木を植栽(10,000本)



□ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業費

【2,247万円】

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽(5.0ha,1万本)、初期保育を支援
優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木の種子による大量生産
優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を増産・PRするための展示選抜林の造成や首都圏での植樹活動

とやまの森を支える人づくりなどの推進

□ とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業費

【2,889万円】

森林ボランティア活動を専門的・総合的に支援
森づくり活動機器(ヘルメット、ノコギリ、チップパー機など)の貸出や保険料を支援
森林ボランティアの施業技術の習得・向上等を目的とした森づくり塾を開催



□ とやまの森づくり普及啓発推進事業費

【580万円】

森づくりへの県民の理解を深めるため「森の寺子屋」を開催(120回)
フォレストリーダーの指導力向上のための研修を実施



□ 県民による森づくり提案事業費

【500万円】

県民が企画、実践する森づくり事業を募集し、活動を支援

□ 県産材利用促進事業費

【1,897万円】

県産材を利用した木造公共施設の新築を支援
公共施設の内装木質化や木製品の導入等を支援
木育推進のための遊具・積木の保育園等への導入を支援(6施設、10基)



□ 全国植樹祭等のイベントで使用する県産材ベンチ・プランターを開発

□ とやまの森づくり総合情報システム事業費

【450万円】

「とやまの森づくり総合情報システム」の運用により森づくり事業の成果を県民に提供



県民全体で支える森づくりの推進と、森づくりの計画及び評価

□ 水と緑の森づくり推進事業費

【317万円】

水と緑の森づくり会議(4/25)及び森づくり部会を開催
小矢部市平桜 「小矢部運動公園」
森づくりや海づくりの気運醸成を図るため、「県民参加の森づくりフェア」(5/28)を開催

